

# 令和6年度農作物病害虫セミナー開催要領

## 1 趣 旨

近年、気候変動による地球温暖化や栽培様式の変化に伴い、府内の病害虫の発生に変化が認められています。一方で、持続可能な食糧システム構築のため、全国的に「みどりの食料システム戦略」が推進されています。

そこで、気象条件を踏まえた本年度の府内の病害虫発生状況を考察するとともに、近年発生が急増し被害拡大が懸念されるイネカメムシの対策、そして、ネギの主要害虫シロイチモジヨトウに対して効果の高い殺虫剤による散布回数を削減した栽培について報告します。

2 日 時 令和7年3月10日（月）午後1時 ～ 3月23日（日）午後12時

3 開催方法 YouTube による限定動画配信として行います。

4 主 催 京都府病害虫防除所

## 5 参集範囲

府内生産者、病害虫調査協力員、京都府農業協同組合中央会、  
全国農業協同組合連合会京都府本部、府内各農業協同組合、京都府農業関係機関等

## 6 内容

### (1) 令和6年度京都府の主な病害虫の発生状況について

京都府病害虫防除所 主任研究員 大八木 秀一

近年、温暖化傾向が続いており、病害虫の発生にも変化が生じています。病害虫の気象条件に対する生態学的な視点と巡回調査等の結果を踏まえ、令和6年度の病害虫発生状況を考察します。

### (2) 近年発生が増加しているイネカメムシの被害と防除について

京都府病害虫防除所 主任 藤井 祥嵩

近年、京都府で斑点米カメムシであるイネカメムシが増加傾向にあります。本種は他種の斑点米カメムシと違い斑点米を生じさせるだけでなく、不稔籾を生じさせます。イネカメムシの生態と防除対策について、詳しく解説します。

### (3) シロイチモジヨトウに対する殺虫剤の効果と殺虫剤使用回数の削減栽培の実証

京都府病害虫防除所 専門幹 浅井 信一

ネギの主要害虫であるシロイチモジヨトウ幼虫への各種殺虫剤の効果を検定し、効果の高い殺虫剤を選定しました。それら殺虫剤を効率的に散布することで散布回数を削減した栽培を実証しましたので報告します。

## 7 申込方法

申込フォームに必要事項〔氏名、所在地（府内は市町村まで）、所属（職業、職種等）、メールアドレス（受付完了及び視聴用 URL 送付用）〕を記入して送信。

申込期限：令和7年3月21日（金）午後4時まで

申込フォーム

URL： <https://forms.office.com/r/frXx2d21M3>

2次元コード



## 8 問い合わせ先

電話：0771-23-9512（直通）

0771-22-6494（農林センター環境部）

FAX：0771-23-6539

メール：bojoshho@pref.kyoto.lg.jp